



授業改善に向けての取り組み				
指導方法の工夫	教育課程上の工夫	校内研究の取り組み	評価の工夫	家庭・地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国語では「話すこと聞くこと」「書くこと」の指導の工夫を進める。</li> <li>・ 算数では、基礎的・基本的事項の定着を図ると共に、問題を理解させる指導の工夫をすすめる。</li> <li>・ 体験学習を生かす指導の工夫を図り、学習意欲を高める。</li> <li>・ 年間を通して補習教室を実施し、学習指導講師を活用する。</li> <li>・ ICT機器の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 馬二タイム(朝学習)を活用し、学級の実態に合わせて漢字や計算の学習を行うとともに、読み聞かせを毎週木曜に行う。</li> <li>・ 特別支援学級と通常の学級との交流を深めると共に、特別支援教育の充実を図るための研修を行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 数・量の感覚を身に付け表現力を豊かにする</li> <li>・ 体験的な活動を十分に組み合わせて、児童一人一人の数・量感覚を高めていく。</li> <li>・ 校内の環境整備を行い、自然と児童が数・量に親しめるようにする。</li> <li>・ ICT機器を使って数・量感覚を視覚的な学びで深めていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業計画の中の評価の位置づけを明確にする。</li> <li>・ 評価規準の活用を進めると共に、指導計画や児童の実態に合った内容に改善する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 保護者や地域住民をはじめとする外部の教育力の活用を一層進める。</li> <li>・ 地域教育連絡協議会の活性化を図り、学校関係者評価の結果を学校運営に生かしていく。</li> <li>・ 学校支援地域本部(スクールサポート馬二)を活用して地域との連携を深めて教育活動を推進する。</li> </ul>